

ファムシクロビル錠 250mg「JG」

再発性の単純疱疹（口唇ヘルペスまたは性器ヘルペス） に対する短期間投与処方チェックリスト

記入日 年 月 日
患者氏名

●処方前の確認事項

- ☐ 単純疱疹（口唇ヘルペス又は性器ヘルペス）の同じ病型の再発を繰り返す患者であることを臨床症状に基づき確認した
- ☐ 妊娠又は妊娠している可能性の有無、授乳の有無

初回の再発分として処方する場合

- ☐ 初期症状発現後、6時間以内を目安に服用する

次回の再発分として処方する場合

- ☐ 再発頻度が年間概ね3回以上である
- ☐ 再発の初期症状（患部の違和感、灼熱感、そう痒等）を正確に判断可能な患者であることを確認した
- ☐ 再発頻度及び患者の腎機能の状態等を勘案し、服用時の適切な用法・用量が選択可能である
- ☐ 1回の再発分に留める

<腎機能に応じた減量の目安>

- ☐ クレアチンクリアランス 60mL/分以上 1回 1000mg（4錠）を2回
- ☐ クレアチンクリアランス 40～59mL/分 1回 500mg（2錠）を2回
- ☐ クレアチンクリアランス 20～39mL/分 1回 500mg（2錠）を単回
- ☐ クレアチンクリアランス 20mL/分未満 1回 250mg（1錠）を単回

●患者さんに対する説明事項

下記の注意点を患者さんに十分説明し、患者さんが理解したことを確認したうえで処方してください

服用に関する注意

- ☐ 初回の再発時の服用は、初期症状（患部の違和感、灼熱感、そう痒等）発現後、速やかに（6時間以内を目安）自身の判断で服用すること
- ☐ 2回目の服用は、初回服用後12時間後（許容範囲として6～18時間後）に服用すること（クレアチニンクリアランス40mL/分未満の患者、単回服用の場合を除く）
- ☐ 再発の初期症状発現後速やかに服用できるよう、薬剤は常に携帯すること
- ☐ 再発の初期症状出現後6時間以内を目安に薬剤を服用できなかった場合で、治療を希望する場合は、医療機関を受診すること
- ☐ 本剤処方後に妊娠・授乳中または妊娠している可能性があるとは判明した場合は、本剤を服用せずに処方医師に相談すること
- ☐ 服用中、服用後に気になる症状があらわれた場合や異常（症状の増悪を含む）を感じた場合は、放置せず、すぐに医師または薬剤師に相談すること

薬剤の保管方法に関する注意

- ☐ 直射日光を避けて室温（1～30℃）で保管し、淡い黄色等に変色した薬剤は服用しないこと
- ☐ 使用期限を過ぎた薬剤は服用しないこと
- ☐ 次回再発分の薬剤は湿気を避けて保管および携帯すること

※服用後は次回の再発に備えて早めに受診するようにご説明ください

販売元

日本ジェネリック株式会社

製造販売元

ダイト株式会社